

研究課題名	消化器移植外科領域における大動脈石灰化が与える予後因子・合併症予測因子の検討		
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹		
研究期間	実施許可日	～	2028 年 12 月 31 日
利用開始予定日	実施許可日以降		
研究対象者	① E2014-0922「消化器癌研究のためのデータベース登録」において同意を得られた患者さん （診療録情報と検体を使用します。） ② E2014-0921「臓器移植研究のためのデータベース登録」において同意を得られた患者さん （診療録情報と検体を使用します。）		
意義・目的	腹部大動脈石灰化は糖尿病、心血管イベント腎機能低下に関与していることが知られています。 (Ichii M, et al. Kidney Blood Press Res. 2013;38: 196-204.) 腹部大動脈石灰化による臨床 データや病理組織的な解析を行い、肝胆膵・移植領域で移植後の予後因子・合併症予測因子を検討 することは臨床的意義が高く今後の治療方針に役立つと考えます。本研究の目的は腹部大動脈石灰 化が消化器移植外科領域において予後や術後合併症へ与える影響を明らかにすることです。		
方法	本研究は、過去研究において同意下で保存されている血液・残余検体を用います。また、患者情 報については診療録情報を転記し使用します。生存期間を Kaplan-Meyer 法で解析、予後因子・ 合併症危険因子を Log-rank 検定や Fisher 検定で単変量解析し、Cox の比例ハザードモデルによ る多変量解析を行います。統計ソフトは JMP12.0 を用います。患者因子、手術因子、術後因子 を検討項目として、単変量解析及び多変量解析を行います。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）		
共同研究機関	なし（外部への試料・情報の提供はありません。）		
試料・情報の管理責任者	所属 大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 職名 教授 氏名 大段 秀樹		
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形 で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心 ください。研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不 利益が生ずることはありません。		
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5222 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹 広島大学病院未来医療センター 職名 助教 大平真裕		